

＜事前登録制＞

OECD × ICC ディスカッション・カフェ

データで読み解く 国際情勢



一見無関係に見えるAのデータとBのデータを並べ、俯瞰し、関連付け、さまざまな分析をすることにより、Xの解を読み解いていく・・・机上に集めたデータをいかに的確に読み解き、有効活用へと繋げていくかは、国際機関や各国政府、学術機関にとって課題解決に向けた第一歩です。そしてそれは、学生・院生の皆さんの学習や研究においてもひとつのキースキルであると言えるでしょう。

今回ICCでは、世界の様々な国際情勢の統計をとり、政府機関等にデータ提供や助言を行っているOECD(経済協力開発機構)と連携し、ICCではデータリテラシー(※)の向上を目指す学生に向けたワークショップ型のイベントを開催します。

少人数グループを組み、OECDのデータベース「iLibrary(アイライブラリー)」の資料を題材にしたいいくつかの問題に取り組みましょう。OECDが行っている、データ分析や国際情勢の読解を体感することができるはずです。

ロジック(論理)をデータで補うというのはどういうことなのか？
データの利点と欠点は何なのか？

前提知識は特に必要ありません。データ運用や国際機関に興味のある方はもちろん、腕試し、就活に備えたディスカッション練習、単なる好奇心からでも、ぜひお気軽にご参加ください！

(※)データリテラシーとは
膨大なデータの中から正確で偏りのない情報を見出し、活用する能力

ゲスト：樋口厚志氏(早大卒)

OECD東京センターマーケティングマネージャー

国内出版社、インターネットサービス企業を経て、国連WFP協会にて開発途上国向け食糧支援の広報と民間セクターのファンドレイジングを担当。その後The Economist東京オフィスにて、The Economist誌、Economist Intelligence Unitの経済・産業リサーチ、エグゼクティブ向けカンファレンスのマーケティングに従事。2013年よりOECDでマーケティングマネージャー(アジア担当)。OECDの報告書・統計データベースの利用促進や学術研究機関との連携を担当。早稲田大学政治経済学部卒業。London School of Economics and Political Science社会・公共コミュニケーション修士。

日時：2014年10月27日(月)16:30～18:00

(開場 16:15)

会場：大隈ガーデンハウス(25号館)1階

対象：早大生

募集人数：約50名(申込者多数の場合は抽選)

参加費用：無料 言語：日本語

参加事前登録：Waseda-net Portal→[システム・サービス]→[申請フォーム入力]-「【参加登録】OECD東京センター x ICC ディスカッション・カフェ：データで読み解く国際情勢(10/27)」

応募締切：10月23日(木)9:00

※参加の可否は同日中にメールでお知らせします。